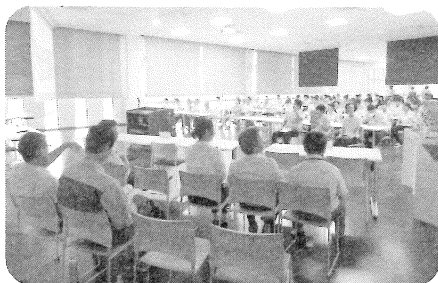




第53回 定期大会開催

ハートエイド21募金

集計結果
7,625 円
ご協力ありがとうございました。



新食堂で初めての定期大会



退任する佐々木執行委員長



今期より就任した永井新執行委員長



見事な進行の青柳大会議長



フレッシュな北折大会書記(左)と
杉本大会書記(右)



募金協力を呼び掛ける
加藤亜紗花さん(左)と柴山亜里沙さん(右)

第3弾 勉強会開催告知

10月31日(水) 詳細は最終頁を参照

特別講師： 曾山浩司社長

ろうそくに火を灯し、ラジオを囲んで何をするでもなく家族で時を過ごす。懐中電灯を顎の下にあて、オバケだぞーなんてやる。子供の頃、停電は日常の身近なものだった。

9月6日、北海道胆振東部地震で、“山肌ごと土砂崩れ”に衝撃を覚え、厚真町では多くの死者が出たと同時に、北海道全域停電(ブラックアウト)が発生しました。地震発生時の電力需要量310万キロワットの半分以上の165万キロワットの供給をしていた震源地近くの苫東厚真発電所が緊急停止したことによって、他の道内3つの火力発電所も連鎖停電してしまつたというわけですから、過去の国内大規模停電といえ、1965年※1御母衣事故、1987年※2首都圏大停電です。それだけ、その後の系統保護・制御の基本思想にも大きな影響を与え技術的な進化を遂げましたが、電力各社は、エネルギー基本計画に沿う形で経営合理化・コスト低減を進め、電源の集中立地へと向かいました。これまで、私たちが信じてきた集中型電源(ニベースロード電源)は事業リスクが高く“時代遅れ”と認識を改める時なのかも知れません。

今回のブラックアウトは想定外だったのか。度重なる災害を経て、すでに“想定外”は通用しないともいえます。すべてを想定内とするために想定幅を広げること。本質的な事前策を検討するクセを身に付けたいものです。

そうそう、ろうそくの火を囲めば、人の心に安らぎが生まれ、人と人とのコミュニケーションが深まるそうです。停電は許されない時代となつてしまいましたが、停電が織り成す古き良き時代が懐かしいですね。

※1 電源開発御母衣発電所近傍の送電鉄塔が台風・豪雨に伴う落石により倒壊。過負荷となった送電線の遮断、需要地側の火力発電所の脱調による停止などが連鎖的に起き、関西地方を中心に大停電となった。

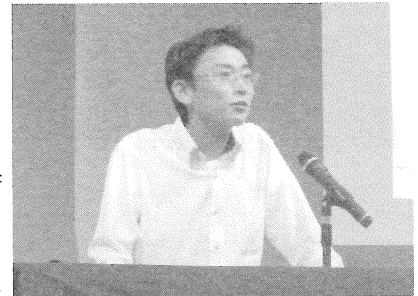
※2 首都圏で280万世帯が停電。原因は電力消費量が発電所の発電能力を超えたため。経済損失は1兆8千億円と試算されている。

第53回 定期大会

9月14日（金）に第53回定期大会が開催され、2017年度活動報告及び会計報告について全会一致で承認されました。また、議事事項として2018年度活動方針と予算の他に、再雇用者の組合員化について議案を挙げ、いずれも全会一致で承認されました。

佐々木執行委員長あいさつ(抜粋)

- ・当社を含む日本ガイシグループにおいても検査不整合が発覚した。当社での不整合について、私の考える最大の原因は「教えられたことを教えられたとおりにしていた事」。何のためにする作業か、何のためにする仕事か。私たちはエナジーサポート製品を生産するプロフェッショナルであること。これを忘れないで頂きたい。
- ・本年度以降の業績見通しは厳しいものだが、億単位の戦略経費が含まれている。皆さんにはこの戦略経費を使う側として日々考えて行動頂きたい。
- ・労働人口減少が深刻化し、当社としてもモチベーションの必要性が高まってきている60歳以降従業員の生活水準確保を目的として、先回春闘では、再雇用者の組合員化を前提とし、再雇用賃金について交渉した結果、時給50円のベースアップで妥結。
- ・女性労働力も必要になってきている。当労組は約4人に1人が女性社員であり、女性の働きやすい環境をつくる事は重要な課題である。昨年より特別執行委員として女性一名を専任したが、今回、副書記長として皆さんに承認いただいた。
- ・エナジーサポートを世界一の社風にしていく。我々労働組合としても精一杯努力して行く所存。



来賓 曾山社長あいさつ(抜粋)

2018.9.14 開催場所 第53回定期大会

信用と信頼

信用 疑わず信じる、相手を受け入れる … だけ

- ・必要最低限の関係
- ・これがないと、その相手とは関わりを持ってない
- ・良否を判断しただけ、何かを生み出すわけではない

信頼 **信用** + 相手を頼り、相手に任せる

- ・会社というチームワークに不可欠の条件
- ・未来への期待
- ・頼り、頼られ、任せ、任せられ、で仕事は成り立つ

■信用と信頼

- ・当社企業理念には「信頼の獲得を大切にし」とある。
- ・ところで、信用と信頼には大きな違いがある(左図)。
- ・検査不整合問題では信頼どころか信用を失った。
- ・信用を取り戻し、その信用の上で信頼を取り戻す。



■SH!FT PROJECT について

- ・何となくここら辺で良いかなというエナジスの体質を感じる。
- ・長いこと会社に居ると、考える前に限界を作ってしまうクセみたいなもの。
- ・上司がこれ位が限度という態度を示したら、そんなんじゃないダメですと上申して欲しい。若い考えに期待している。
- ・“とことん” “しつこく” “妥協しない” 私も “しつこく” 言うし、そうなるまで止めるつもりはない。
- ・みなさんが中心となって進めて欲しい。

2018.9.14 開催場所 第53回定期大会

SH!FT PROJECT へのお願い

- ・お願いしたいこと
 - しつこく、あきらめない … もっと何かあるはずだ
 - 妥協しない … こんなじゃ満足できない、これが究極か?
 - とことん考え抜く … 横っこにあるものは何だ
 - あれこれ試す … 頭の中だけで納得しない
 - 押してもだめなら引いてみな … 逆から見ると世界が変わる
 - 小さなモグラ叩きを繰り返さない … 一掃打尽にするには?

壁を超える体験、壁を突き抜ける体験

来賓

山田拓郎犬山市長あいさつ(抜粋)

- ・会社として地域貢献いただいていることに感謝している。
- ・働く人たちの意見を集約し施策に展開する。



例えば

自殺対策

育ボス宣言（部下の育成上手な上司）

⇒ワークライフバランスの実現

⇒商工会議所を巻き込んで事業所へ

エナジスの南側を工場立地し易いように変更

⇒活力ある街づくり

来賓

井上猛 JAM東海書記長

あいさつ(抜粋)



- ・JAMのテーマは「働くみんなのために」
- ・その共通の目的のために心を一つにする“団結”が必要。
- ・互いを助け合う“相互扶助”がベース。

活動報告

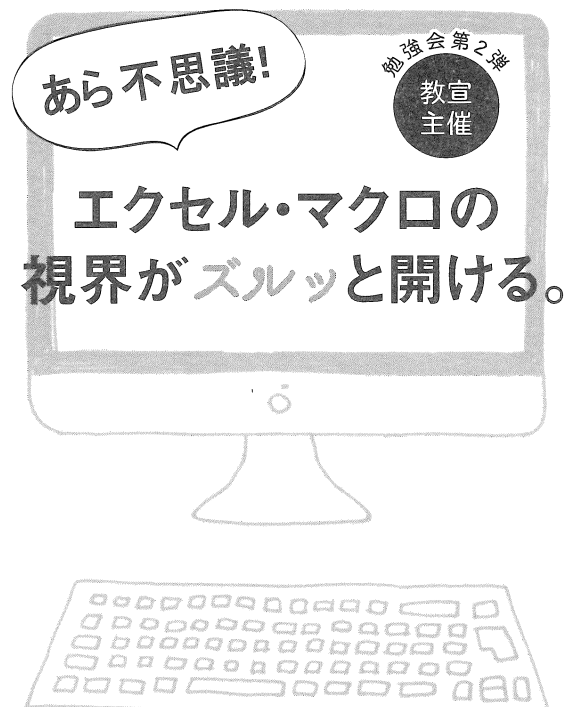
玉置ゆきや組織内議員(抜粋)

- ・駅や交差点での見守り運動を続けている。
- ・犬山市内全小中学校のエアコン設置を1年前倒しのH32年度完了へと推進した。
- ・働く人たちの声を国に伝える人がいない。JAMから国会へ送ることに対してご理解下さい。



教育宣伝部主催による勉強会が7月13日（金）に開催されました。2回目となる今回は「あら不思議！エクセル・マクロの視界がズルッと開ける」です。

講師には当社のマクロ師範として密かに知られる野口泰生さんが登壇、通常業務でも活用できる便利機能、マクロの基本（仕組み・考え方）、上級テクニックまでお話をいただきました。



エクセルマクロとは？

VBAを使って作成したプログラム



Visual Basic for Applications

=プログラム言語

一日だけではマクロを使いこなすという所までは行きませんが、エクセルの活用術やマクロ活用の幅を知る良い機会になりました。

エクセルのショートカットキーを
知ろうともせずに、マクロを使い
こなそうなんて言語道断！

師範より



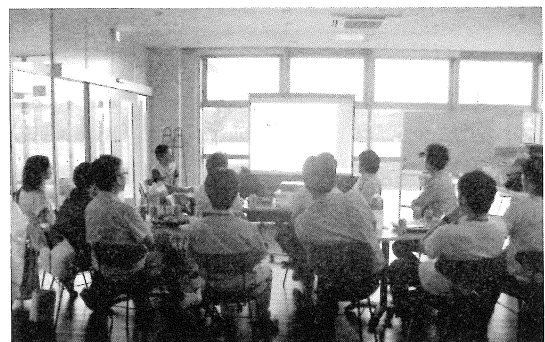
エクセルのショートカットキーの一部を紹介いたしますので是非一度お試しください！！



F2	=	セルの内容の末尾にカーソル移動入力モード・編集モード切替
F5	=	[ジャンプ] ダイアログボックスを表示
CTRL + 1	=	[セルの書式設定] ダイアログボックスを表示
CTRL + D	=	下方向へコピー
CTRL + G	=	[ジャンプ] ダイアログボックスを表示
CTRL + R	=	右方向へコピー
SHIFT + F2	=	セルのコメント挿入・編集

（参加者氏名 13名）

中野友貴 石黒靖英 鈴木亨 山崎 淳 落合かおり
高村徹志 杉本哲治 棚橋伸晃 手塚千尋 兼松良樹
小栗和也 奥井翔太 野口泰生 （順不同・敬称略）



エクセル・マクロについては続編を計画中です。道場破り、歓迎。

勉強会についてのご要望があれば、ドシドシ教官部までご連絡ください！

☆組合活動報告☆

【内 部】

8/9 エナジス産業 役員会

/21 執行委員会

/22 2017年度 会計監査

/24 安全衛生委員会

/28 労使協議会

執行委員会

【外 部】

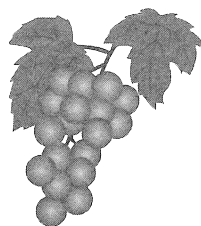
8/1 JAM東海 尾張北地区

協議会 会計監査

/4 JAM東海 安全セミナー

/24 JAM東海 愛知県連絡会

/27 JAM愛知 青年協議会



☆専門部活動報告☆

《青年婦人部》

8/22 部 会

《安全生産対策部》

8/24 安全デイスカッション開催



教宣
主催

第3弾

勉強会開催告知

終業後のひととき、

自分の会社を見つめなおす時間にしてみませんか？業務に取り組む姿勢が変わるかも・・・。

INFORMATION

参加費無料！

日時：10月31日（水）18時～

場所：Cacoi Cafe

申込：10月17日（水）労組事務所まで

※軽食とドリンク（アルコール飲料含む）を用意しています

フリートークで学ぶ！

会社を知り、 業務に繋ぐ。

特別講師：曾山浩司社長

編集後記

今年の夏は一段と暑かった分、9月に入っただいぶ涼しくなり、秋の気配が感じられますね。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋などなど、様々な呼び名がありますね。○○の秋と表現されることに理由があるのかなと私なりに調べてみました。

食欲の秋・・・秋は食べ物の種類が豊富に揃う季節であり、採れたてを頂くという考え方、夏の疲れからの回復や冬に向けて栄養のため込もうとお腹が空くなどの理由で呼ばれるようになったそうです。

読書の秋・・・昔の中国で「秋は過ぎやすい季節で、夜には明かりを灯して読書をするのに最適だ。」という意味の詩が詠まれています。この詩を夏目漱石が「三四郎」という小説で取り上げたことから広まったそうです。

スポーツの秋・・・1964年に開催された東京オリンピックの開会式が10月10日に行われたこと、過ぎやすい秋にみんなでスポーツを楽しもうという風潮などから呼ばれるようになったそうです。

調べてみると、気候的な理由が主となっているようです。皆さん過ごしやすい秋の季節を楽しみましょう！